

県立広島大収受	
大 第	号
24.10.-5	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

## 理事長選考対象者推薦書

平成 24 年 10 月 1 日

公立大学法人県立広島大学  
理事長選考会議議長様

推薦者 教育研究審議会委員

氏名 生田 顯 ㊞

私は、本人の同意を得て、次の者を、公立大学法人県立広島大学理事長選考対象者として推薦します。

(ふりがな) 理事長選考対象者氏名	(よしかわ とみお) 吉川 富夫
現職名又は最終職名	県立広島大学経営情報学部教授
<p>推薦理由</p> <p>吉川氏は、大学で経済学を習得した後、東京都政策室等、行政機関における企画・調査部門において優れた実績を残してきたことが、同氏の履歴書から伺われる。また、ニューヨーク駐在員の経験や、海外における行政調査に関する研究など、国際感覚にも優れている。</p> <p>同氏は、1998年に大学院に社会人入学した後は研究活動にも精力的に従事し、2005年に工学博士の学位を取得している。その後、同年4月の県立広島大学発足と同時に経営情報学部経営学科教授として就任以来、学部および大学院で公共経営学分野における教育・研究に尽力してきた。特に、多くの優れた社会人大学院生を育成してきたことは特筆に値する。また、これまで多くの研究著書および研究論文を出版・公表している。大学運営においても、学長補佐として専門的観点から学長の職務を支えてきた実績を有している。</p> <p>さらに、広島県経済財政会議委員、広島県事業仕分け県民委員や広島市行政におけるいくつかの委員会委員長・会長を歴任するなど、地方行政に対して専門的指導・助言を行い、多大の貢献と影響力を発揮してきた。県内他大学との連携が模索されている中で、本学がリーダーシップを持ち、県との連携を保ちながら、各種事業の推進において牽引力を発揮することが期待される。</p> <p>同氏は、教育研究を基盤とする大学のあり方や将来の向かうべき姿について明確なビジョンを持ち、それを実現する実行力を備えていることが、所信において伺われる。具体的には、i) 教職員の意思が大学運営に反映され得る公平・公正な大学運営を目指す。ii) 社会の構造変化に適切に対応した大学運営を目指す。iii) 効率的で効果的な大学運営を目指す等、本学の将来を託すに値する人物であることを確信し、同氏を理事長選考対象者として推薦します。</p>	